

平成29年度第2回 熊谷市地域公共交通会議 会議録

平成30年2月8日（木）

午前10時00分～11時40分

熊谷市役所6階 603会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) ゆうゆうバスのルート・時刻の見直しについて

- ・平成30年10月予定の、ゆうゆうバスのルート・時刻の見直しについて、本案の方向で3月市議会定例会に提案したい旨、資料に従い説明。
 - ・質問：グライダー号とグライダーワゴンの結節についてはどう考えているか。また、乗継券の利用者はどのくらいいるか。
 - ・回答：グライダー号とグライダーワゴンについては、乗継よりも、それぞれ離れた時間で運行する、補完を考えている。乗継券の利用者は、平成28年度年間で、121人である。
 - ・質問：ほたる号が減便になるということだが、夕方の通勤通学時間帯ということで心配である。どのように決めたのか。
 - ・回答：所要時間の延長によるやむを得ない減便だが、最も利用の少ない便を、減としたところ。3便の江南行政センター～籠原駅間の利用者が3.5人/日であるのに対し、6便は2.1人であり、やむを得ず、ここを減便対象とした。なお、このうち籠原駅からの乗車は1.5人である。
- 案のとおり了承された。

(2) ゆうゆうバス事業者の選定について

- ・意見：バス事業者の選定にあたっては、国土交通省発出の「コミュニティバスの導入に関するガイドライン」に従い、単に価格だけでなく、安全性、利便性、利用者への対応等も考慮して、総合的に選定していただきたい。

→選定委員会委員について、

副委員長 大久保副会長

委員 松田委員、小林委員、鳴原委員

を選出した。

(3) ゆうゆうバスのバス停要望について

- ・①愛染堂前、②長塚集会所前、③江南荘の3か所のバス停要望が出されている旨説明。
- ・意見：①、②の運行事業者だが、①については、現在のバス路線上で路線の延長は発生せず、見通しもよいため、安全性の点でも問題ないのではないか。②は、路線の延長が発生し、また、民地でのバスの転回が必要となるため、速達性、安全性の点から、デメリットが大きいと考えている。
- ・意見：③の運行事業者だが、衛生センター、江南荘が休業日には、入口を閉鎖してしまうために、乗り入れが難しい。また、桜並木があり、バスの車高では、枝が邪魔になってしまう。今回提案のあったワゴン車であれば運行は可能と考える。

→上記意見から、

①愛染堂前：平成30年10月の見直しに合わせて設置

②長塚集会所前：今回は不採択

③江南荘：今後、本路線へのワゴン車の導入時に検討

とすることとなった。

(4) ゆうゆうバスのバス停新設・廃止に関する要綱の制定について

- ・意見：基準の中で「道幅が4メートル以上あり、通行に支障がないこと」となっているが、道幅の基準を広げられないか。
- ・回答：最低限の基準を定めたものであり、これを基に、交通会議の中でご判断いただくということでご理解いただきたい。
- ・質問：新設バス停の利用目標である0.5人/日の根拠は。
- ・回答：現在、バス停の平均利用者数が1.5人/日、最も利用の多い熊谷駅、籠原駅を除いても0.9人/日となっており、この半分程度と考えたところ。

→案のとおり了承された。

(5) ゆうゆうパス70の見直しについて

- ・意見：警察においても、運転免許返納を促すため、シルバーサポーター制度を推進しており、ここに入っただけなのは大変ありがたいこと。
- ・意見：無料乗車が増えると、市の補助金が増加することになる。財政的見地からのご留意願いたい。

→案のとおり了承された。

(6) ほたる号の事業評価について

→案のとおり了承された。

4 その他

・国際十王交通：

① 籠原駅～深谷日赤の路線については、平成16年の運行開始以来、毎年赤字となっており、車両の更新時期を機に、平成30年4月から減便、9月末に廃止としたい。

② 熊谷市街に導入している100円運賃について、廃止し、4月から通常の距離別運賃としたい。

③ 熊谷駅ロータリーの混雑について、解消を要望したい。

・朝日自動車：100円運賃の廃止について、同様としたい。

・熊谷地区タクシー協議会：熊谷駅ロータリーの混雑について、同様に、解消を要望したい。

・埼玉県バス協会：バス協会においても、バスの様々な課題に取り組んでいるので、報告する。

・熊谷警察署：熊谷駅ロータリーについては、違法駐車を取り締まりを行っているが、送迎等で運転手がいる場合には、有効な取り締まりの手段がなく、苦慮しているところ。

・埼玉県交通政策課：バス路線の廃止にあたっては、住民への周知について万全を期されたい。

・関東運輸埼玉支局：同様にお願ひする。

5 閉 会